

2020年 結成30年間のたたかいに確信もち 労働者・国民の要求を背に 共闘の新しい時代に歴史的な役割を果たそう



岩手県西和賀町・錦秋湖にて撮影



発行責任者
勝見 忍
山形市薬師町2-6-15
新発見ビル 3F
TEL 023 (615) 2172
FAX 023 (615) 2173
URL: <http://www.yamagataroren.com>
Email: yamagataroren@yahoo.co.jp

2020年春闘共闘委・発足総会ひらく 労働組合の「見える化」「一組合員一行動」で 国民春闘を前進させよう

山形県2020年国民春闘共闘委員会発足総会が12月21日、山形市内で開かれました。

代表幹事の勝見忍県労連議長があいさつし、県議会の9月定例会本会議で自民党議員が代表質問で最低賃金を取り上げ、全国一律は必要との前提で質問するなど、県内での全国一律最賃制度を求める世論の高揚や、参院選で市民と野党の共闘による芳賀道也氏の当選など、2019年の運動の到達点を強調しました。そのうえで、2020年春闘では労働組合の「見える化」を重視し、「一組合員一行動」の国民春闘の前進を呼びかけました。

ため、職場要求討議の促進、春闘学習決起集会の成功、統一行動への結集など具体的な取り組みを提起しました。

討論では、「教育現場に必要なのは変形労働制ではなく、教員の大幅増だ」（山教組）「農協労働者は自らの暮らしと権利を守り、農業で暮らしが成り立ってこそ地域も守れると行動している」（農協労）「自治体の非正規労働者は正規化、

ハラスメントの根絶を！

全労連・伊藤圭一さんを講師に学習会

12月21日、県2020年春闘共闘委・発足総会に先立って、労働相談センターも共催して国民春闘共闘委員会・常任幹事の伊藤圭一氏（全労連常任幹事）を講師に招き、「ハラスメント学習会」を開催しました。

「仕事の世界における暴力とハラスメントの根絶をILO条約、国内法、職場の取り組み」と題して講演した伊藤氏は、2019

月給制、無期雇用をめざしている」（公共一般）など現場の切実な実態が紹介されました。



山形県2020年春闘共闘発足総会（12月21日山形市）

年6月に採択されたILO190号条約では、ハラスメントは禁止・根絶が当たり前となっていると解説。これに対し、日本で同5月に成立した「ハラスメント防止法」は、「禁止規定」がないこと、実効ある救済制度がないなど数々の問題点があることが説明され、参加者は熱心にメモをとって聞きました。

学校をブラック職場にさせるな！

変形労働の導入でなく、「先生を増やす」ことこそ必要 たたかいはこれから！ 全山形教祖福岡修三委員長が抱負



『先生ふやそう署名』に人だかり
(11月24日山形駅構内)

昨年の臨時国会で、公立学校に変形労働時間制の導入を可能とする「教育職員の給与等に関する特別措置法」（給特法）改定案が成立しました。全山形教祖・福岡修三委員長が今後のたたかいについて抱負を語りました。

「学校がブラック職場になっている」・・・いま、教職員の長時間労働が社会問題になっています。その是正は、子どもの教育条件にとってもきわめて大切な国民的課題です。

ところが、政府は、「学校における働き方改革」として、「一年単位の変形労働時間制」を導入しようとしています。

これは、1年間を「繁忙期」と「閑散期」とに分け、「繁忙期」の勤務時間を延

長し、「閑散期」の勤務時間を短縮して、年間の週平均労働時間が40時間を超えないようにする制度です。しかし、この制度では長時間労働が改善されるどころか、ますます学校のブラック化が助長されるだけです。必要なことは、少人数学級の実現や教職員定数の抜本的増員によって教員を増やし、業務量を縮減することです。私たちは、「ふやそう先生」署名運動を展開しています。県労連のみならず、11月に街頭署名に取り組み、1時間で120筆の署名を集約することができました。たたかいはこれからです。

福祉は国民の権利 ふやそう職員、上げよう賃金 福祉保育労組が宣伝・署名、研究集会

福祉保育労組は11月、保育の全国リレー宣伝行動や「社会福祉研究集会」の開催、それに合わせた街頭署名など多彩な行動を展開しました。

保育の全国リレー宣伝は、横断幕が全国をリレーでつなげられるのにとめない、署名行動などが各地で取り組まれています。山形地本の保育園の2つの分会では、園側の協力も得て、朝と夕方、送迎に訪れる保護者に署名を呼びかけました。行動した組合員は、早番や遅番など勤務に応じて交代で参加しました。行動には子どもたちも手伝ってくれ、などうれしい応援もありました。



社研集会で熱心に学ぶ

した。こうした行動で、53筆もの署名が集まりました。

11月22日と23日には、福祉保育労組を中心とする実行委員会の主催で「第57回山形県社会福祉研究集会」を新庄市で開催しました。「あなたの職場、大丈夫？

～みんなが安心のびのびできる職場づくり～」をテーマとした今集会は、1日目に福祉職場の労働環境の問題や職場の関係づくりなどについての基調報告や講演が行われました。2日目には「福祉職場で役立つ交流タイム」として、職場で使える実践型交流が行われました。参加者からは、「パワハラと指導との違いを学んだ」「ロールプレイやパネルトークなど良い経験となった」「仕事の息抜きにもなった」などの感想が寄せられました。

集会の終了後、14名が参加して新庄駅前前で行った署名行動に取り組みました。ほとんどの通行人がチラシとティッシュのセットを受け取り、1時間の行動で43筆の署名が集まりました。冬の木枯らしが吹く新庄に、福祉の風を吹かせました。

はたらく女性の中央集会在宮城
山形県国公・岸せい香事務局長が参加 感想を掲載します
11月17日、「はたらく女性の中央集会在宮城」の二日目の全体会に参加しました。全国の女性が集い活気を感じました。



全体会・壇上でアピール

ジャーナリストで和光大学名誉教授の竹信三恵子さんから、「企業ファースト化する日本」と題して記念講演がありました。働き方改革、女性活躍、同一労働同一賃金等は企業

を富ませる目的であり、マスコミの報道をうのみにせず、法制度を見極め取入れ使っていくこと、そのためには女性が学習し、違いを排除せず理念の一致で連携、女性活動が高めることが必要と、真の女性活躍を鼓舞する話に、元気が出ました。



新庄駅前での署名行動に参加した仲間

自治体
キャラバン

知事、山形市長、鶴岡市長に相次いで要請・懇談

全国一律
最低賃金

実現めざし力合わせよう

吉村知事

「今のうちに格差を是正しないと
修正のしようがなくなる」

2019年自治体キャラバンの一環として、県労連は12月24日、吉村美栄子知事に要請を行いました。勝見忍議長ら14名が県庁を訪れ、吉村知事に要請書を手交し、とりわけ全国一律最低賃金制度について意見交換しました。

勝見議長は、吉村県政が格差を是正し労働力の流出をくいとめようと、この間、国に対して最低賃金の全国一律化とランク制度の廃止を提言してきたことに敬意を表し、「この間、自民党の国会議員の



吉村知事を囲む要請参加者

皆川治 鶴岡市長に初会見
「人口減少は深刻。最低賃金の重要性は認識している」

鶴岡田川地域労連と県労連は12月23日、鶴岡市の皆川治市長に要請・懇談を行いました。自治体キャラバンで鶴岡市長が直接対応するのは初めてのことです。

鶴岡田川地域労連の柳原敦議長、県労連の勝見議長ら9名が参加しました。今回は国立大学の有期雇用の問題や運営費交付金の要請も盛り込んだことから、山形

佐藤孝弘 山形市長に
山形大学問題でも要望

県労連と山形地域労連は12月25日、自治体キャラバン2019の一環で、佐藤孝弘山形市長に対し、雇用・地域経済などについて要請・懇談しました。県労連の勝見議長と山形地域労連の東海林良二議長が佐藤市長に要請書を手交しました。

全国一律最賃の実現、中小企業支援、会計年度任用職員制度における雇用・労働条件の改善、運営費交付金の増額を国に求め学生をブラックバイトから守ることなど、重点とした要請事項について佐藤市長自身が回答し、意見交換しました。

山形大学の経営・運営に関し佐藤市長は、有識者による顧問会議等を通じて大学側の意向を把握し対応すると回答。要請に同席した仁科辰夫・山大職組副委員長は、運営費交付金の大幅削減で競争的資金の大学予算に占める比率が高まり、無期転換を回避する目的の有期教職員の5年雇い止めにもつながっている実態に触れ、県や他市とも連携した対応を強めるよう重ねて要請しました。学生への



左から佐藤市長、勝見議長、東海林議長

アルバイトの権利周知等について佐藤市長は、労働局とも連携し対応すると回答。参加者は、「ワンオペ」でアルバイト学生が高負担になっているサービス業の相談事例を紹介し、対応強化を求めました。



あいさつする鶴岡・皆川市長

山形大学職員組合 県労連加盟提案が承認 全員投票で過半数の賛同得る

山形大学職員組合は、県労連加盟について全員投票を行い過半数の賛同を得て、加盟が承認されました。12月10日から23日まで同職組規約に基づく投票を実施し、26日に結果を公示したものです。

全労連の最重点計画の1つに選定された山形大学総がかり作戦において、県労連と同職組は、有期・非正規教職員の無期転換や格差解消等の要求実現の運動、アルバイトの権利を学ぶ学習会など学生ユニオン建設を視野に入れた取り組み等で共同を重ねてきました。

1月18日に開催する第38回評議員会での承認などの手続きを経て、正式に加盟承認されることになります。同職組各支部のうち既に各地域労連を通じて加盟している支部の組合員数を除いても、県労連として新たに3桁の増勢になります。

全国革新懇 地域・職場・青年革新懇全国交流会in兵庫 山形県労連 勝見忍議長が発言「草の根の力で自民現職破る」

全国革新懇が昨年10月19日・20日に開催した「地域・職場・青年革新懇全国交流会in兵庫」の全体会で、勝見忍議長が発言しました。大要を掲載します。

参議院選挙のた

たかいの経験について発言します。

山形選挙区では、無所属の芳賀道也氏が自民党の現職候補に1万6254票の差をつけて勝利しました。これによって、参議院の山形選挙区からは非改選も含め、自民党の議席はなくなりしました。これは実に60年ぶりのことで、歴史的な快挙です。

自民党は、安倍首相はじめ有名政治家を連日のように投入しテコ入れをはかる一方、芳賀陣営は対照的に、市民と野党が団結し「草の根」選挙に徹しました。

とくに3年前からの変化について報告します。山形県労連は、全労連の参院選闘争方針

をうけとめ、3年前の経験もふまえ、幹事会を中心に論議をすすめてきました。加盟組織によっては、職場における選挙活動のむずかしさなども指摘されましたが、学習と討論を基礎とすること、組合員の政党支持、政治活動、候補者選択の自由を保障することを当然の前提としつつ、県労連としては、候補者との間で基本的な政策が一致すれば、推薦し当選をめざして奮闘することを意思統一しました。

6月1日、県内の5つの野党による参院選挙協力に関する確認書署名式が、3年前に当選した舟山康江参院議員と芳賀道也氏が立ち会い、市民連合の皆さんも見守る中、行われました。

これは、安保法制廃止、安倍改憲反対、農家への戸別所得補償制度復活、原発に依存しない社会、消費税増税反対など5項目です。

芳賀氏との政策合意や共同の質的な前進

5 野党の署名式の3日後、県労連は芳賀氏との間で署名をして政策合意を交わしました。安倍9条改憲反対や消費税増税中止、8時間働けばまともに暮らせる社会の実現など5項目です。

3年前も、舟山氏との間で政策合意を交わすことにしていましたが、外部からの障害によって、合意・確認はしたものの署名をすることはできませんでした。

しかし、今回はそうした妨害、障害は一切なく、大変円滑にすすめることができました。これが前回より大きく変化した第一の点です。

第二の点は、選挙戦における具体的な取り組みについてです。選挙の後半戦で、個人演説会を、県労連と県医労連との共同で開催したこと。これは、「市民と労働者の総決起集会」という名称で開催し、市民連合のみならずなども含め200人余りが参加して大きく成功させることができた。弁士の1人として参加された全労連の小田川議長があいさつし、「山形において、これだけ共同が深

化・発展してきたことに身震いするほどだ」と感想を述べられました。

なお、この個人演説会は公選法にもとづくもので、私たちにとってはほとんど経験がなかったのですが、芳賀総合選対における連合の幹部の皆さんが、私たちに対して懇切に教えてくれました。こうしたことも、共同の質的な変化としてあげられます。

第三の点は、共産党や県労連、民主諸団体によって構成する「はが道也必勝・共同選対」を立ち上げて選挙戦に取り組みしましたが、本体のはが道也総合選対との間で適宜、「連絡調整会議」を開いて意思疎通や連携を強化した点です。

このように、全体として3年前よりも共同の質が着実に変化しています。

野党比例票合計の153%を獲得し、共闘効果を発揮しました。

二つ目に、山形県の投票率は60・74%で全国1位となったことです。ちなみに2位が岩手、3位が秋田、4位が新潟とのことでした。

つまり、野党統一候補を立てて選挙をたたかうということは、これまで安倍政治のあまりのひどさや野党の不団結などに嫌気がさして投票すらする気にならなくなった有権者に、政治を変える希望を示すことにつながるものと思います。この間の国政選挙では、概ね半数の有権者が投票していません。この人たちに、市民と野党の共同こそが政治を変える力になるというメッセージを届けけることが、安倍政権を倒して新しい希望ある政治を実現する道を開くことになると確信します。

次に、選挙結果から、二つの特徴について述べたいと思います。一つは、共闘した国政4野党の合計比例票を大きく上回る票を獲得したこと。芳賀氏は4

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。

参院選での経験を貴重な財産として、山形県においても革新懇運動を幅広く前進させるため、力を尽くす決意を申し上げ発言とします。